

市立幼稚園が担うべき役割の再整理及び課題解決に向けた取組方針 (案)

6つの柱	課題	取組方針 (案)
①遊びを通した学びを推進し、後伸びする力を育むための複数学級	<ul style="list-style-type: none"> ・後伸びする力の検証 ・複数学級の編成 	<p>【①就学前教育の研究実践機能の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びと育ち研究所との連携などによる調査・研究による教育力の向上、成果の情報発信・活用 ・さらなる連携推進に向けたカリキュラムの改訂やリーフレット等による意識啓発 ・全体研修会や地区別情報交換会の等の実施 ・幼稚園と小学校教員の人事交流に向けた体制の構築
②幼稚園と小学校の滑らかな接続に向けた教員間の連携推進	<ul style="list-style-type: none"> ・一層の連携推進 (情報発信の工夫化等) ・各主体 (公私幼保小) における意識啓発 	
③特設学級の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・量の拡充及び質の向上 ・関係機関との連携 ・「特設学級」のあり方 	<p>【②インクルーシブ教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入園基準の見直し ・受入体制 (加配制) の整備 ・特設学級の廃止、受入体制 (加配制) の整備 ・判定機関の設置 ・特別支援教育専門員等による相談体制の見直し ・効果的な情報発信
④発達に関する専門機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・相談体制の強化 ・判定機関の欠如 	
⑤家庭教育の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・支援体制の強化 (低年齢) ・未就園から入園に向けた接続 ・情報発信の工夫化 	<p>【③地域の子育てセンター機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低年齢児等に対応した子育て支援事業の拡充 ・効果的な情報発信 ・地域における幼児期の教育のセンター機能の充実
⑥幼保一体化や預かり保育等、幼児教育制度の研究	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育の実施時間 ・待機児童等解消に向けた幼保連携の観点からの施策 	<p>【④待機児童対策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育時間の見直し ・幼稚園型一時預かり事業 (Ⅱ) の実施 ・空き床を活用した法人保育事業者との連携 → 幼保施設の老朽化対策 → 幼保が連携した利用しやすい環境整備

※効果・効率的に取組んでいくための体制 (案) については第4回以降に協議

こども達の未来のために
今後の尼崎市立幼稚園のあるべき姿を確立する